

コンクリートセミナー 300 回記念 達人が伝える次代へのメッセージ

主催 社団法人セメント協会

後援 社団法人 土木学会
社団法人 日本建築学会
社団法人 日本土木工業協会
社団法人 建設コンサルタンツ協会
社団法人 日本コンクリート工学協会
全国生コンクリート工業組合連合会

趣旨 持続可能な発展が望まれるいま、その道案内としてわが国コンクリート技術の達人たちを土木・建築の各分野からお招きしました。これからの社会資本整備を進めるにあたり、次代を担う技術者たちに伝えておきたいメッセージを披露していただきます。技術の真髄に触れられるこの機会をお聞き逃しなさいようご案内いたします。

●日時 2011年3月8日(火) 9:50 ~ 17:10
●場所 ヤクルトホール
[〒105-8660 東京都港区新橋1-1-19]
●定員 150名(定員になり次第締切らせていただきます)
●受講料 1名あたり 10,000円(テキスト代を含みます)
●申込先 受講ご希望の方は、2011年3月1日(火)までに、

- ① 受講申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXで下記へお申込ください。
 - ② 受講料は、「郵便振替」(加入者名): 社団法人セメント協会、口座番号: 00170-9-196803) で下記宛お振込みください。
- ①②を確認のうえ、受講券を送付させていただきます。なお、お申込みされた後にご欠席の場合、セミナー終了後にテキストと受講料の請求書をご郵送致しますので、お振込みください。

〒103-0032 東京都中央区日本橋本町1-9-4
社団法人セメント協会 普及部門
TEL:03-5200-5060 FAX:03-5200-5062

●本セミナーは「土木学会認定CPDプログラム」です。



- JR新橋駅 「銀座口」より徒歩3分
- 都営地下鉄浅草線 新橋駅 「汐留1番出口」より徒歩5分
- 東京メトロ銀座線 新橋駅 「2番出口」より徒歩2分

講演

9:50 ~ 11:00

1 コンクリート技術の原点から次代を展望

高度成長期以来、建設工事は近代化されてきたが、コンクリートの初期欠陥はむしろ増加している感がある。長寿命が求められるコンクリート構造物の建設に対して、黎明期まで立ち戻ってコンクリートの施工技術を整理し、次代の建設に必要とされる施工技術を展望する。これからの技術をリードする新たな創造・提案のヒントを提供する。

キーワード: コンクリート施工技術、初期欠陥、品質確保、耐久性、施工管理
株大林組 技術本部 技術研究所 部長 十河茂幸氏

11:10 ~ 12:20

2 日本の礎を築いた国鉄からJRの技術

土木の原点を138年の歴史の鉄道技術に見ることができる。全国に張り巡らせた鉄道は、その地域、その時代に適した工法にて造られてきた。鉄道建設技術、さらには長期間にわたって維持管理してきた技術から、将来のコンクリート技術を見つめることができる。技術力の評価の得られる新技術、新工法のヒントが隠されている。

キーワード: 鉄道の歴史、建設、維持管理、新技術、駅の改良と開発
東日本旅客鉄道(株) 執行役員 構造技術センター 所長 石橋忠良氏

13:20 ~ 14:30

3 我国の戦後のコンクリート技術の軌跡と現況

第2次世界大戦後の我国におけるコンクリート技術の進展と現状を分析する為、第1回から今日に至るまでのセメント技術年報(本セミナーの主催者であるセメント協会の編集である)に掲載された論文を対象に総括することを試みた。その結果、研究の流れ、流行、すたれが明確に示された。さらに現況として現在の研究対象として最重点課題の環境問題とサステナビリティについて述べる。

キーワード: コンクリート、セメント、骨材、混和材料、環境、サステナビリティ
愛知工業大学 工学部 都市環境学科 特任教授 長瀬重義氏

14:40 ~ 15:50

4 建築物用コンクリート技術の変遷とこれからの展望

建築物用のコンクリート技術は、常にその時代における構造物としての要求品質とそれを実際の工事で実現するための施工合理化要求のせめぎ合いの中で発展してきた。その中で日本建築学会が制定するJASS5がコンクリートおよび構造物の品質向上と施工方法の標準化に果たしてきた役割は大きいものがあった。20世紀後半以降のその規定の変遷とその意味を振り返りつつ、これからのコンクリートのあり方について展望する。

キーワード: JASS5、強度規定、調合規定、耐久性規定、コンクリート製造・施工方法、維持保全、長寿命化
東京大学 名誉教授 友澤史紀氏

16:00 ~ 17:10

5 国づくりのシナリオと将来への期待-国家建設のあり方について-

我が国は2008年のリーマンショック以降、経済活動の減少、少子高齢化と予算配分の変化に伴う建設投資の大幅な変更が行われている。このような状況下において、これからの国家建設のあり方が問われている。最も重要な建設材料のひとつであるコンクリートおよびコンクリート構造物をどのように利用していくべきであるかを概観し、我国のこれからの国づくりのシナリオと将来への期待について展望する。

キーワード: 少子高齢化、コンクリート構造物、国づくり、安全・安心、経済動向、超寿命化、未利用資源
独立行政法人 土木研究所 理事長 魚本健人氏

コンクリートセミナー 300回記念受講申込書

●セメント協会普及部門宛(FAX. 03-5200-5062)にお送りください。

申込日 月 日

勤務先 TEL. — —
FAX. — —

業種 官公庁 建設業 コンサルタント 生コン コンクリート製品
混和剤 学校 セメント その他()

住所 〒

受講者(連名可)

●業者は該当する□の中に✓印をつけてください。電話番号・郵便番号も必ずご記入ください。

右の欄は、受講券等をお送りするための宛名として、当方で切り取って封筒に貼付いたしますので、楷書でご記入ください。

受講券在中

□□□□-□□□□

都道府県 区町市郡

殿

●勤務先等も必ずご記入ください。